社会実験「守口さんぽ vol.2」

社会実験の目的

・社会実験「守口さんぽ vol.2」は、**エリアの将来イメージを市民と共有し、道路・公共空間を活用したまちの魅力づくりや回遊性向上**を目的として実施。
（2022年10月15日（土）～30日（日））
・豊秀松月線歩道区域での占用・滞在区画の整備を想定した、露店やキッチンカー等の出店、ストリートファニチャーや駐輪場などの設置を行い、整備に向けた道路活用のあり方を検証。
・旧徳永家住宅ガレージにて、2週間限定のポップアップショップを出店し、基本計画に反映するためのテストマーケティングを実施。
・ 桜町団地周辺エリアでは、前面道路の一部と民間の駐車場を占用し、子育て世代等が憩う広場機能、事業にチャレンジできる環境づくりのためのマーケットニーズや集客効果を検証。

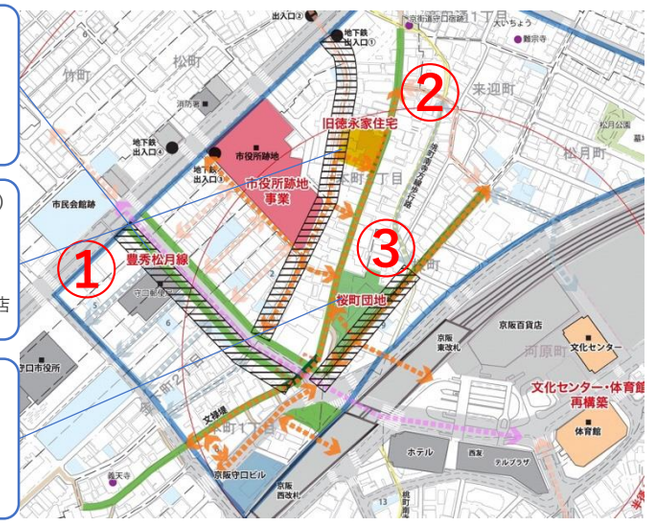
実施状況

・**13日間で約11,300人の来場**があり、地域内外の**出店者50社、協賛12社の合計62社**が参画。
・**地元住民、周辺で働く人、子育て世代が絶えず訪れ、滞在時間も長く、長期間開催することによるリピーターも多くみられた。**
・各エリアにおける将来のイメージを具体的に可視化でき、**「守口の未来のお客さん」が求めるコンテンツ**が多く提供されたことで市民からの期待の声が寄せられた。
・SNS等での出店者や来場者による拡散効果がみられた。
・豊秀松月線沿いだけでなく、旧徳永家住宅・桜町団地も活用することで、相乗効果が生まれ、多様な世代が各会場を**回遊してまちを楽しむ**様子が見られた。

エリア① 豊秀松月線（道路予定地）
日常化に向けた占用・滞在区域の検討
・実施期間：2022.10.15 – 10.30
・露店・キッチンカー等の出店
・ストリートファニチャー、駐輪場、植栽などの設置

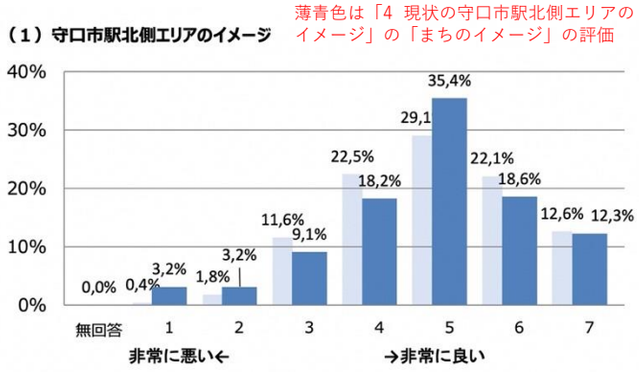
エリア②旧徳永家住宅(ガレージショップ)
古民家活用施設の賑わいづくりの実験
テストマーケティング
・実施期間：2022.10.15– 10.30
・2週間限定のポップアップショップを出店

エリア③ 桜町団地周辺
広場機能の導入可能性や
歩行者優先の回遊空間づくりの実験
・実施期間：2022.10.22– 10.24
・道路占用や民間駐車場を貸切にした
マルシェなど商空間・広場空間を実現

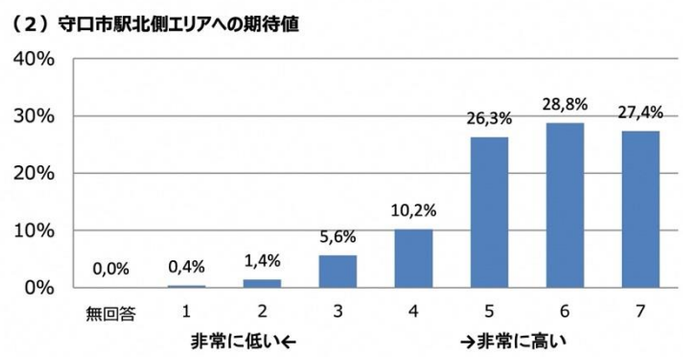


効果検証

・vol.1同様、来場者アンケート調査を実施（回答者数285名）。
・守口市内の来場者が6割を占め、**vol.1の4割より市内来場者が2割増加。**
・年齢は20～59歳で大半を占め、**20～39歳の若い子育て世代、家族連れが約半数。**
・エリアの現状イメージは、7段階中「5（どちらかというと良い）」の評価が最も多く、昨年度よりも評価の良い回答がやや増加。
・社会実験による守口市駅北側エリアの**イメージの変化や期待値が高まる。**
・ぜひ参加したい、時間があれば参加したいが9割を超え、**次回実施への期待値が非常に高く、出店や運営、宣伝に協力したいという意見が増加。**



・「5」以上の評価が昨年度より8%増加。
・Q4の現状のイメージと比較して「5」が6%増加し、「6」以上はやや減少。



・「5」以上の評価が昨年度より5%増加。 特に「7」が5%増加。